

2017年度
明治大学政治経済学部
グローバル型特別入学試験

総合（日本語）問題

（注意）

1. 問題は問1～問3の3問で、2ページあります。
2. 解答はすべて別紙「解答用紙」に記入してください。
3. 受験学科、受験番号、氏名を「解答用紙」の所定欄に記入してください。
4. 試験時間は90分です。

※ この問題用紙は必ず持ち帰ってください。

次の文章と図表を参考にし、下記の問いに答えなさい。

平成 27 (2015) 年の世界の総人口は 73 億 4,947 万人であり、72 (2060) 年には 101 億 8,429 万人になると見込まれている。

総人口に占める 65 歳以上の人の割合 (高齢化率) は、昭和 25 (1950) 年の 5.1%から平成 27 (2015) 年には 8.3%に上昇しているが、さらに 72 (2060) 年には 18.1%にまで上昇するものと見込まれており、今後半世紀で高齢化が急速に進展することになる (表 1)。

表 1 世界人口の動向等

	1950 年 (昭和 25 年)		2015 年 (平成 27 年)		2060 年 (平成 72 年)	
総人口	2,525,149	千人	7,349,472	千人	10,184,290	千人
65 歳以上人口	128,666	千人	608,180	千人	1,844,269	千人
先進地域	62,774	千人	220,817	千人	350,607	千人
開発途上地域	65,892	千人	387,363	千人	1,493,663	千人
65 歳以上人口比率	5.1	%	8.3	%	18.1	%
先進地域	7.7	%	17.6	%	27.4	%
開発途上地域	3.8	%	6.4	%	16.8	%
平均寿命 (男性)	45.4	年	68.3	年	77.4	年
同 (女性)	48.3	年	72.7	年	80.4	年
合計特殊出生率	5.0		2.5		2.2	
資料: UN, World Population Prospects: The 2015 Revision						
(注 1) 平均寿命及び合計特殊出生率は、1950—1955 年、2010—2015 年、2055—2060 年						
(注 2) 先進地域とは、ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリア及びニュージーランドからなる地域をいう。						
開発途上地域とは、アフリカ、アジア (日本を除く)、中南米、メラネシア、ミクロネシア及びポリネシアからなる地域をいう。						

先進諸国の高齢化率を比較してみると、我が国は 1980 年代までは下位、90 年代にはほぼ中位であったが、平成 17 (2005) 年には最も高い水準となった。

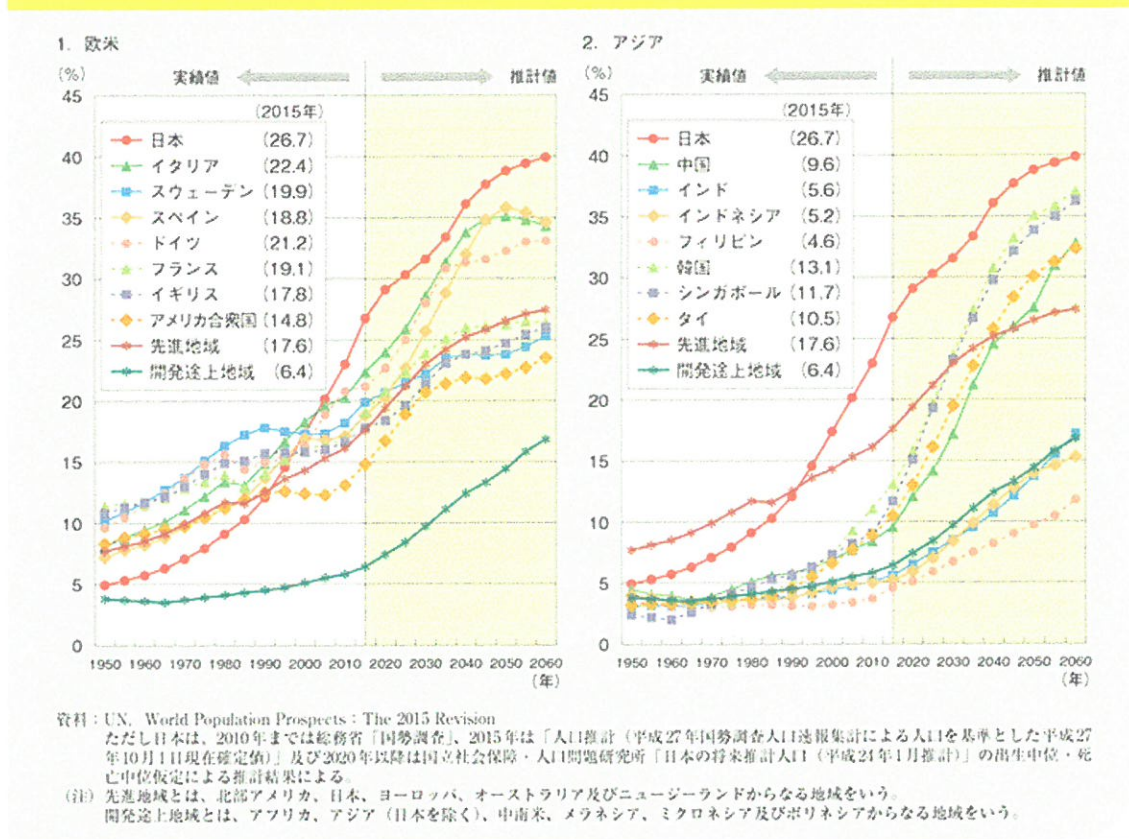
また、高齢化の速度について、高齢化率が 7%を超えてからその倍の 14%に達するまでの所要年数 (倍加年数) によって比較すると、フランスが 126 年、スウェーデンが 85 年、比較的短いドイツが 40 年、イギリスが 46 年であるのに対し、我が国は、昭和 45 (1970) 年に 7%を超えると、その 24 年後の平成 6 (1994) 年には 14%に達している。このように、我が国の高齢化は、世界に例をみない速度で進行している。

アジア諸国についてみると、今後、急速に高齢化が進み、特に韓国においては、我が国を上回るスピードで高齢化が進行し、平成 17 年 (2005) に 9.3%で

あったものが 72（2060）年には 37.1%にまで達すると見込まれている。

地域別に高齢化率の今後の推移をみると、これまで高齢化が進行してきた先進地域はもとより、開発途上地域においても、高齢化が急速に進展すると見込まれている（図 1）。

図 1 世界の高齢化率の推移



（内閣府『平成 28 年版高齢社会白書』PDF 版 p. 10・12 より抜粋）

問 1 表 1 から、65 歳以上人口比率の推移に関し、先進地域と開発途上地域の違いについて 150 字以内で述べなさい。

問 2 図 1 から、日本を除き、欧米（左図）とアジア（右図）のそれぞれについて、高齢化率の推計値から読み取れる特徴を各々 200 字以内で述べなさい。

問 3 今後、一層の高齢化を迎える日本に関し、高齢社会の問題点とその解決策について、600 字以内で論じなさい。